

崖線に沿って流れる野川は私達のお友達

水辺の生き物調査実行委員会

去る9月28日(日)に佐須用水が合流する野川の細田橋周辺で、第3回水生生物調査を行いました。

スタッフ含め40名の参加者。秋晴れの下、野川の水量は昨年より多く、水温は若干低めでしたが、心地良く調査を進めることができました。

春の調査では姿を見せてくれなかったモツゴ、タモロコやオイカワも元気そうで一安心。



ヤマトクロスジヘビトンボやアオヒゲナガトビケラを観察している横をハグロトンボの成虫が優雅にお散歩してました。



調布の自然 水辺編 No.7 ~ 台風楽し ~

「台風楽し」と言っは不謹慎ですが、子どもころは台風が近づいてくるとなぜかワクワクしました。昔は家中がガタピシ、停電して蠟燭の灯かりで数時間、家族みんなで過ごしたことも覚えています。

さて、台風が水辺の生き物や植物に与える影響はどうでしょう。最近読んだ「独立行政法人自然共生研究センター」のレポートの中からいくつか紹介します。まず、洪水が起きないと河川敷の植生は極相へと遷移して植物が生い茂り、従来の裸地を好む生き物が住めなくなります。川の中でも、浮き石に厚く苔が生して生育が悪くなり、水中の栄養が取り込まれにくくなるそうです。また時期は違いますが、コイなどは4月頃の出水を契機に産卵を始めるそうです。その他にも、河川の浮石に溜まったゴミや土砂を洗い流し、石の下に住む生き物に住処や酸素を供給するなど、いろいろなはたらきをしているということがわかってきました。

台風は大きな被害をもたらしますが、反面、環境をリセットし元の姿に戻すために必要な存在で、生き物たちも台風を待っているということを知りました。先日の台風で冠水した場所には、いろいろな木屑や土砂などが積もってました。これには水中に堆積していたものがあるでしょうし、なぎ倒された植物も河川敷の更新には必要なことなのでしょう。いやはや奥が深いといった感想です。(近藤)



人間樹林の会 樹木名札作り

9月21日 折からの台風10号の接近と秋雨前線の影響で雨がやまず。現地での作業はあきらめ、室内での樹木名札作り、11月の東部児童館との企画作りなどを行いました。

樹木の名札作り

樹林内の10種の樹木について12枚、特徴を端的に記し、樹脂製プレートに貼ったうえビニールコート、さらにラッカー吹きつけ。神代植物公園にも負けないと自画自賛。後は次回の取り付けを待つばかり。

東部児童館との交流内容

雑木林では厄介者扱いされるシュロも昔は縄をはじめ帚、たわし等々生活雑貨の雄。

“シュロを知ろう!” でほぼ固まり。

何事も3年が区切り。市の来年度予算案の編成時期を真近にひかえ、これまでの調査データ・記録の管理・分析の上に立った今後の活動のあり方について意見交換。等



多摩川の野鳥と植物観察会

エコクラブ

日本野鳥の会東京支部の川端一彦さんと、お仲間の浅黄さんの指導で、9月27日実施しました。前半は順調に流れて行きましたが、後半は、イナゴやバッタなど、昆虫のオンパレードで子供達は、虫に目が向き追い駆けまわしていました。とにかく最高の日照で暑かったです。



~総合的な学習の時間に対応する地域プログラム等作成事業~「富士見台小学校サポート」

9/25(木)多摩川にて、富士見台小学校1年生70名の、生活科の授業をサポートしました。7月は雨で中止になり、9月も当初の予定日は悪天候のため実施できず、延び延びになっていました。当日は、怪しい空模様の中、お天気を気にしつつも、ようやく実施することができました。

1年生にとっては、「身近な自然に気づく」というのが大きな目標です。今回の内容は、「草花あそび」と「虫とり」でした。まずは、簡単な草花遊びを紹介して、みんなでやってみました。ところが、ここに落とし穴。大人が簡単と思っていた遊びも、1年生には、草の穂で結ぶということが案外難しく、四苦八苦する子も。手先の技術がいないオオバコの相撲は、次々と対戦相手を変えて盛上がりしました。その後は、草花遊びと、虫とりの二班に分れて、それぞれ楽しみました。

最後に、その日の感想を子どもたちに話してもらいました。初めて自分で虫を捕まえたこと、くっつく種でダーツをしたことなど、嬉しかったことや楽しかったことなどを聞くことができました。校外での授業は初めてという子どもたち、遠足もまだこれからで、列になって学校の外を移動するというのも初めての体験でした。隣の子と手をつなげなかったり、短い青信号がなかなか渡れなかったりと、学校と多摩川の往復にも大騒ぎでしたが、ケガも事故もなく、無事に終えることができました。(北谷)



十五年
度
雑
木
林
塾
講
座
始
ま
る
！



第3回「雑木林塾」に参加して

「雑木林塾」という文字を市報等で目にし気になっていたが、今回の塾が「へび山」で行われることを知り、自宅から近いこともあって参加することにした。

調布が定年後の生活の場になった今、おそまきながらこの地が都心の近くにありながら、緑に恵まれていることに気づかされるとともに、反面宅地化も進んでおり、緑が急速に減少している気がしてならない。調布の緑を今以上に減らさず、できればふやしていくことはできないのかと折に触れ考えている。

本日のフィールド観察のとき、小池講師の話の中で「雑木林をつくる」という言葉に新鮮な驚きを感じた。今後の活動が楽しみになったとともにこのテーマを自分なりに追いかけてみたいと思う。
(大久保)



昨年伐採したクヌギの萌芽更新

環境モニター



調布の自然調べ～再開にむけて現地調査～

『調布の自然調べ』は、モニタリングの継続をすることになりました。

9月28日、講師の小沢さんとともに、モニタリングの地区と対象植物の選定をするため、かに山・佐須地区・野川周辺を現地調査しました。最終決定は、再度うちあわせをすることになっています。

あわせて、植物の標本づくりについて講師の指導を受けました。
(S・A)

2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その6 「どれもこれもカカシだぞ～！」



実りの秋も近づき、「すずめ対策」のカカシを作ることになりました。案山子の漢字も知らなかったほど、近頃はカカシを見聞きしませんが、我らが田んぼには総勢13体の見事なカカシが並びました。皆、個性的で、すずめ達もきっと驚くでしょう。

(一番驚くのは人間かな?)

更に奥には、“田んぼの守り神カカシ”のミミズク君も居ます。何れも願いはひとつ！冷夏にめげずの“豊作”を祈るのみ。(受講生 村田)



人間・樹林の会

日時：10月19日(日) 9:30~15:00

集合場所：人間地域福祉センター

内容：講師を招いて秋の方形桝調査を行います。西側樹林の観察と樹林の素材を使った工作の練習を行う予定です。

持物：軍手・飲み物・筆記用具・作業できる服

問合せ：環境保全課(81-7086)

雑木林塾

日時：10月25日(土) 10:00~15:00

集合場所：へび山

内容：道具使用の練習を兼ね枯木を整理します。樹林内の樹木でバッジを作成します。

持物：軍手・昼食・飲み物・筆記用具・作業できる服・(あればノコギリなど作業道具)

問合せ：環境保全課(81-7086)

実篤記念館 秋の講座「自然観察会」

日時：11月1日(土) 初級 10:00~12:00

中級 13:00~15:30

集合場所：実篤記念館

内容：講師を招いて自然観察会を行います。身近な自然の魅力を見直します。

講師：富田 広 氏

問合せ：実篤記念館 03-3326 0648

環境モニター・ガイドウォーク 「寺社と古木 西光寺の近藤勇像」

日時：11月8日(土) 10:00~12:00

集合場所：西調布駅改札外

内容：環境モニターのガイドで西調布周辺の寺社と古木をたずねて歩きます。西光寺の近藤勇像もたずねます。

問合せ：環境保全課(81-7086)

市民参加企画による環境講座 「東部地域の水と緑のまちづくり 全5回」

第1回：11月8日(土) 10:00~12:00

集合場所：東部公民館

内容：水と緑の自然環境について学び、まちづくりにどう活かしたらよいか考えます。

第1回内容・東部地域の緑の特徴について

講師・富田 広 氏

問合せ：東部公民館 03-3309 4505



へび山のヒガンバナ 9月27日

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
10月6日(月) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	環境モニター 連絡会
10月15日(水) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	人間・樹林の会 世話人会
10月23日(木) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	環境市民懇談会 連絡会議
10月28日(火) 13:30~16:00	市役所3階 環境部会議室	ニュースレター 編集・次号企画

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリスト に参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み:(尾辻)
kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようと思っっている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

8月末日に今年初めてのヒガンバナを発見。へびヤマでは今が満開。南側の田んぼでは稲刈りが・・・秋ですね。(K)

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先 調布市環境部環境保全課

TEL :0424 - 81 - 7086

E-mail : kankyouto@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会